

山田庸平が軸になる九州勢

施設整備等協賛競輪・別府G3ナイターは、11月16日、19日の日程で開催される。今シリーズは九州勢が圧倒的な戦力を誇っている。山田庸平、小川勇介、阿部将大、塚本大樹、伊藤颯馬ら実力者がそろっていて、勝ち上がり戦から有利にレースを進めていきそう。しかしながら、木村皆斗、武田豊樹、芦澤大輔と茨城勢も充実の布陣だけに、一筋縄ではいきそうにない。優勝のゆくえは果たして？

寛仁親王牌に出場する選手が不在とあって、G戦線で活躍している山田庸平の存在はひととき光る。今年はまだビッグレースで決勝進出はないものの、計8勝をあげているし、G3では2Vを飾っている。8月岐阜②①②着、9月玉野②①⑤着、同月奈良記念は準決

2着で優参を果たしている、最近の動きも良好だ。自力攻撃の破壊力には素晴らしいものがあるが、何でもそつなくこなすオールラウンダー。阿部将大、伊藤颯馬らとタッグを組めるような前を託して勝機を見い出す。昨年はG3の3Vを含み8Vと大ブレイクした阿部だが、今年は一息不足の場所が続いていて、まだ優勝がない。74周年記念を制覇している相性のいい地元バンクで流れを変えるのか、伊藤



山田庸平

も苦戦を強いられていて、後期はまだ優参がない。だが、共同通信社杯では3日目に1勝、9月奈良記念は一次予選をまくって勝ち星をゲットすると、3日目は逃げ切って2勝目をあげていて、立ち直りの兆しは見せている。対照的に小川勇介、塚本大樹の追い込み型は差し脚快調。小川は8月松戸記念で3②②着と気を吐くと、その後も同月岐阜、9月佐世保はいずれも準V。チャンスが巡ってくればものにできる状態にある。塚本は8月西武園記念、9月奈良記念と続けて決勝に進出。ただ、10月京王閣記念で落車していて、体調には一抹の不安が残る。

先陣を受け持つ木村皆斗を武田豊樹、芦澤大輔が盛り立てる茨城勢も好勝負が期待できる。木村は伸び盛りの新鋭で、機動力には一段と磨きがかかった印象だ。5月岸和田では3連勝でS級初Vを飾ると、F1戦では完全に優参級に定着。直近5場所は優勝こそないものの、準決で4勝をあげている。タイミングよく仕掛けて主導権を握れば、九州勢を沈黙させても不思議ではない。ただ、9月は2場所病欠したので、初日の動きには注目しておきたい。G1で7Vのレジェンド・武田は木村と連係実績が豊富。6月取手記念では一次予選と最終日特選、7月豊橋の準決でワンツーを決めた。9月青森記念の3日目は、根田空の逃げを差し切っていて、勝機はきっちりものにしていく。木村次第では久しぶりのVもありそう。芦澤も伸びがいい。今期は2班だが、8月前橋、9月川崎はいずれも準V、9月青森記念では2連対を果たしている。



木村皆斗

一発があれば中釜章成か。豊かなスピード、鋭い加速力を活かした自力攻撃には威力があり、7月京王閣G3では決勝3着と好走している。近畿の上位陣はライン手薄の不利はあるが、展開がもつれるようだとい存在となる。

51歳の大ベテランながら差し脚に陰りは見られない新田康仁、目標をつかんだときの捌き、差し脚はしっかりしている渡部哲男らは好位置占めると浮上も。



小川勇介

主力選手プロフィール									
選手名	登録地	期別	競走得点	競走得点	競走得点	競走得点	競走得点	競走得点	競走得点
木村皆斗	岐阜	68期	106.84	106.84	106.84	106.84	106.84	106.84	106.84
伊藤颯馬	神奈川	82期	92.67	92.67	92.67	92.67	92.67	92.67	92.67
阿部将大	愛媛	84期	106.37	106.37	106.37	106.37	106.37	106.37	106.37
山田庸平	徳島	85期	99.42	99.42	99.42	99.42	99.42	99.42	99.42
小川勇介	大分	85期	98.45	98.45	98.45	98.45	98.45	98.45	98.45
中釜章成	徳島	86期	100.20	100.20	100.20	100.20	100.20	100.20	100.20
柴崎淳	神奈川	87期	92.71	92.71	92.71	92.71	92.71	92.71	92.71
長島大介	秋田	89期	94.63	94.63	94.63	94.63	94.63	94.63	94.63
武田豊樹	茨城	90期	99.20	99.20	99.20	99.20	99.20	99.20	99.20
近藤隆司	千葉	90期	100.33	100.33	100.33	100.33	100.33	100.33	100.33
河村雅章	千葉	90期	95.97	95.97	95.97	95.97	95.97	95.97	95.97
鈴木裕	熊本	90期	93.81	93.81	93.81	93.81	93.81	93.81	93.81
藤田勝也	大阪	90期	93.10	93.10	93.10	93.10	93.10	93.10	93.10
山田庸平	栃木	91期	99.25	99.25	99.25	99.25	99.25	99.25	99.25
長島大介	埼玉	91期	97.34	97.34	97.34	97.34	97.34	97.34	97.34
塚本大樹	岐阜	92期	100.85	100.85	100.85	100.85	100.85	100.85	100.85
櫻井正孝	福井	92期	96.91	96.91	96.91	96.91	96.91	96.91	96.91
大西貴晃	茨城	93期	100.77	100.77	100.77	100.77	100.77	100.77	100.77
元砂勇雪	千葉	94期	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00	94.00
南潤	秋田	96期	103.12	103.12	103.12	103.12	103.12	103.12	103.12
中釜章成	東京	97期	92.09	92.09	92.09	92.09	92.09	92.09	92.09
橋本瑠偉	岡山	98期	94.07	94.07	94.07	94.07	94.07	94.07	94.07
伊藤颯馬	熊本	98期	96.67	96.67	96.67	96.67	96.67	96.67	96.67
阪本和也	岐阜	99期	98.78	98.78	98.78	98.78	98.78	98.78	98.78
阿部将大	静岡	100期	100.91	100.91	100.91	100.91	100.91	100.91	100.91
新村稜	福岡	107期	107.95	107.95	107.95	107.95	107.95	107.95	107.95
真鍋智寛	岩手	115期	97.42	97.42	97.42	97.42	97.42	97.42	97.42
小沼良	福島	115期	93.64	93.64	93.64	93.64	93.64	93.64	93.64
紺野哲也	福島	115期	98.91	98.91	98.91	98.91	98.91	98.91	98.91
佐藤成人	静岡	115期	101.64	101.64	101.64	101.64	101.64	101.64	101.64
石丸寛之	静岡	117期	100.88	100.88	100.88	100.88	100.88	100.88	100.88
佐藤真一	静岡	117期	107.20	107.20	107.20	107.20	107.20	107.20	107.20
三宅達也	岐阜	117期	101.79	101.79	101.79	101.79	101.79	101.79	101.79
齋藤登志信	大阪	117期	98.14	98.14	98.14	98.14	98.14	98.14	98.14
牧剛央	三重	117期	98.05	98.05	98.05	98.05	98.05	98.05	98.05

施設整備等協賛競輪 出場予定選手									
級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
S1	山口富生	岐阜	68期	106.84	S2	松坂英司	神奈川	82期	92.67
S1	新田康仁	静岡	74期	106.97	S2	渡部哲男	愛媛	84期	106.37
S1	堤洋	徳島	75期	104.78	S2	高原仁志	徳島	85期	99.42
S1	大塚健一郎	大分	82期	97.33	S2	菅原晃	大分	85期	98.45
S1	中川誠一郎	熊本	85期	103.67	S2	三ツ石康洋	徳島	86期	100.20
S1	河野通孝	茨城	88期	102.90	S2	長田祐祐	神奈川	87期	92.71
S1	武田豊樹	茨城	88期	105.63	S2	佐藤朋也	秋田	89期	94.63
S1	上田国広	三重	89期	108.00	S2	早坂秀悟	茨城	90期	99.20
S1	小川勇介	福岡	90期	110.37	S2	芦澤大輔	茨城	90期	105.58
S1	柴崎淳	三重	91期	105.83	S2	近藤隆司	千葉	90期	100.33
S1	河村雅章	東京	92期	104.59	S2	田中晴基	千葉	90期	95.97
S1	鈴木裕	千葉	92期	101.62	S2	中村雅仁	熊本	90期	93.81
S1	藤田勝也	和歌山	94期	106.00	S2	伊藤成紀	大阪	90期	93.10
S1	山田庸平	佐賀	94期	111.86	S2	中川貴徳	栃木	91期	99.25
S1	長島大介	栃木	96期	104.64	S2	岸澤賢太	埼玉	91期	97.34
S1	塚本大樹	熊本	96期	109.25	S2	森川大輔	岐阜	92期	100.85
S1	櫻井正孝	宮城	100期	105.96	S2	鷲田幸司	福井	92期	96.91
S1	大西貴晃	大分	101期	100.92	S2	関貴之	茨城	93期	100.77
S1	元砂勇雪	奈良	103期	105.17	S2	加賀山淳	千葉	94期	94.00
S1	南潤	和歌山	111期	104.11	S2	竹村勇祐	秋田	96期	103.12
S1	中釜章成	大阪	113期	109.06	S2	鈴木謙二	東京	97期	92.09
S1	橋本瑠偉	栃木	113期	104.93	S2	小玉拓真	岡山	98期	94.07
S1	伊藤颯馬	沖縄	115期	107.13	S2	森山智徳	熊本	98期	96.67
S1	阪本和也	長崎	115期	104.90	S2	今藤康裕	岐阜	99期	98.78
S1	阿部将大	大分	117期	105.29	S2	菅原裕太	静岡	100期	100.91
S1	新村稜	神奈川	119期	97.95	S2	渡邊豪大	福岡	107期	107.95
S1	真鍋智寛	愛媛	121期	105.12	S2	照井拓成	岩手	115期	97.42
S2	小沼良	埼玉	68期	95.72	S2	伊藤奎	福島	115期	93.64
S2	紺野哲也	宮城	69期	103.18	S2	鈴木涼介	福島	115期	98.91
S2	佐藤成人	奈良	71期	97.62	S2	齋木翔多	静岡	115期	101.64
S2	石丸寛之	岡山	76期	95.57	S2	長田龍拳	静岡	117期	100.88
S2	佐藤真一	東京	79期	98.78	S2	渡邊雅也	静岡	117期	107.20
S2	三宅達也	岡山	79期	106.10	S2	長谷部龍一	岐阜	117期	101.79
S2	齋藤登志信	宮城	80期	99.67	S2	仲野結音	大阪	117期	98.14
S2	牧剛央	大分	80期	100.70	S2	溝口葵	三重	117期	98.05

ガールズスケイリン

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
L1	荒牧聖未	栃木	102期	52.22	L1	藤原亜衣里	新潟	102期	45.80
L1	石井寛子	東京	104期	53.14	L1	三宅玲奈	岡山	108期	46.70
L1	児玉碧衣	福岡	108期	57.43	L1	齊藤由紀	愛知	110期	44.27
L1	太田美穂	三重	112期	55.46	L1	成田可菜絵	大阪	112期	50.24
L1	當銘直美	愛知	114期	54.55	L1	那須萌美	宮崎	114期	55.26
L1	中村美那	神奈川	118期	48.14	L1	布居光	和歌山	118期	46.62
L1	刈込奈那	千葉	120期	46.96	L1	渡邊菜奈	静岡	122期	47.57
L1	藤原春陽	徳島	122期	51.67	L1	熊谷芽緯	岩手	124期	53.96
L1	星野しほ	東京	124期	45.36	L1	高橋美沙紀	愛知	124期	51.61
L1	羽田野愛花	大分	124期	46.33	L1	豊田美香	徳島	126期	52.67
L1	是永ゆうき	大分	126期	50.24					

別府GIIIナイター 施設整備等協賛競輪 号外版

渡邊 豪大 (福岡/107期)

最近伸びの良さが目につく。共同通信社杯の一次予選で清水裕らを相手に勝ち星をあげると、9月向日町記念 in 奈良も一次予選を白星スタート。九州の機動型が充実しているここは上位進出のチャンス。



山口 富生 (岐阜/68期)

55歳の大ベテランながらS1班を堅持していて、溢れる闘志は健在だ。今年はG3で2回の優勝があるし、最近も9月立川の初日特選は、林慶のまくりを差して勝っている。しっかりした目標があるときは連の対象から外せない。



真鍋 智寛 (愛媛/121期)

昨年前期からS級に上がり、今期は初めてS1班に昇格。まだ優勝には手が届いていないものの、スピードは一級品だ。9月青森記念の一次予選では、上がり11秒フラの超速まくりを決めて2着以下を5車身千切っている。



ガールズケイリン

無敵の児玉碧衣が魅せる

主力選手プロフィール						
那須 萌美 35 114期 L1 55.26 55.74 55.26 ① ① ② ①	児玉 碧衣 30 108期 L1 57.43 57.38 57.43 ① ① ② ①	豊田 美香 29 126期 L1 52.67 52.31 52.67 ⑦ ⑧ ② ①	太田 美穂 29 112期 L1 55.46 54.58 55.46 ② ② ② ①	富銘 直美 29 114期 L1 54.55 54.91 54.55 ③ ① ① ④	石井 寛子 39 104期 L1 53.14 55.94 53.14 ④ ② ② ①	熊谷 芽緯 21 124期 L1 53.96 53.65 53.96 ④ ③ ⑥ ⑤
近畿	九州	四国	中部	中部	関東	近畿
選手能力値	機動力	ダッシュ	差し脚	デンジャヤー	実績	ポテンシャル
41 61	69 98	41 55	72 74	45 69	51 72	59 68
66 68	18 0	12 28	16 1	54 1	55 20	12 0
40 83	88 131	3 65	49 77	47 79	88 102	12 82
戦法別勝利数	上連対	連対	3着	下1着	12場所勝利数	1着
0 5 8 10	5 28 0 0	2 5 0 0	16 6 2 1	0 6 5 10	11 9 2 0	8 4 3 1 0
0 4 6 0	5 27 0 0	2 2 0 0	6 4 2 0	0 2 4 0	1 1 9 8 0	8 4 3 1 0
出走 34	出走 36	出走 32	出走 35	出走 36	出走 32	出走 36
1013 4 7	32 1 0 3	2 11 3 16	1213 3 7	6 15 7 8	18 5 0 9	8 11 8 9
5月 5月 5月 5月 5月 5月 5月	5月 5月 5月 5月 5月 5月 5月	6月 5月 4月 5月 5月 5月 5月	6月 6月 6月 6月 6月 6月 6月	6月 6月 6月 6月 6月 6月 6月	6月 6月 6月 6月 6月 6月 6月	6月 6月 6月 6月 6月 6月 6月
山崎 2 1 3	山崎 1 1 1	山崎 2 1 1	山崎 2 1 1	山崎 2 1 1	山崎 2 1 1	山崎 2 1 1
2 2 1	1 1 1	1 1 1	4 間 欠	2 1 1	3 6 2	7 1 1
4 ② ③	① ① ①	⑦ 欠 欠	4 ② ②	4 ① ③	1 ② ①	4 ③ ⑦
7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	6月 6月 6月 6月 6月 6月 6月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月
1 ④ 1	1 ⑤ 1	5 4 補	1 2 2	⑦ 4 3	2 1 1	2 1 1
1 2 2	1 ① 1	4 2 1	1 3 2	2 2 1	欠 1 1	2 3 2
1 4 ③	① ① ①	1 ⑤	① ② ④	① ② ④	① ⑥ ⑦ ⑥	④ ③ ⑦
AS 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	AS 7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	7月 7月 7月 7月 7月 7月 7月	8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月	8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月	8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月	8月 8月 8月 8月 8月 8月 8月
2 2 1	1 ④ 1	2 4 2	1 ① 3	3 2 2	5 ⑥ 1	1 3 ⑤
2 3 1	1 ② 1	3 3 2	1 ② 2	2 2 1	7 ① 1	2 1 2
欠 ② ②	① ⑤ ①	② ⑤ ⑥	① ⑦ ①	④ ③ ②	④ ⑦ ②	③ ① ⑦
9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月	9月 9月 9月 9月 9月 9月 9月
1 4 1	1 1 1	2 2 2	2 4 2	1 4 3	3 5 2	2 1 2
4 2 4	1 1 1	2 3 欠	1 4 3	1 4 3	1 ① ②	④ ⑤ ⑥
② ② ④	① ① ①	⑤ ⑦ 欠	① 欠 欠	① ① ②	① ① ②	④ ⑤ ⑥
1316万	2048万	640万	1468万	1306万	888万	1099万
追捲	逃捲	逃捲	逃捲	自在	自在	逃捲
戦法	戦法	戦法	戦法	戦法	戦法	戦法

今期は女子オールスターで優勝に、V5と随所でヒットを飛ばしている太田美穂が児玉にとって一番意識する相手か。ホームガマシで押し切って久米詩、柳原真緒に反撃を許さなかった9月立川決勝の走りは本当に見事だった。考えすぎることもなく得意の積極策で勝負しており、相手が強くてもやる事は一つだろう。



太田 美穂



児玉 碧衣

それでも今期は7戦してV1、準V4回。勝ち上がりでは取りこぼしがあっても、決勝となるとすごい集中力で着をまとめる。児玉を逆転は難しくても差し迫って連対は十分。今期は追加も受けて8月は3本、9月は4本とタフに走り抜けている。9月四日市、福井を連覇とさすがに第一人者らしく着をまとめている。流れで自在に攻めていくが、最終的に好位を確保できれば怖い。

熊谷芽緯の走りの楽しみだ。ダッシュを生かした自力攻撃は迫力満点で、冷静な立ち回りからまくって優勝した8月弥彦MN以降も常にV争いに絡んでいる。レース運びも進化していい好機にスパートして好勝負を演じよう。

昨年のグランプリ女王の石井寛子は、6月のパールカップ、8月取手と立て続けの落車は痛かった。復帰なら戦える上には戻ってきているだろうが本調子は期待しにくい。荒牧聖未も9月宇都宮MNで優勝はしているが、怪我の影響でまだ調子に波がある。むしろ豊田美香や高橋美沙紀を伏兵で注目したいところ。